

建物が、街の宝になるまで

～和い話し広場建物の国登録有形文化財答申記念講演会参加募集～



和い話し広場建物（旧下野中央銀行喜連川支店）

日常の風景に潜む歴史ロマン

あなたが毎日なにげなく通り過ぎている景色の中に、時代を生き抜いてきた「本物の歴史」が眠っているとしたら――。

昭和4（1929）年に建てられた旧下野中央銀行喜連川支店（現・和い話し広場）。地元では長い間、風景と一体であった建物の価値を認識していませんでした。

しかし、建設当時の資料が発見されたことにより、建物の歴史的な価値を証明し、未来へ引き継ぐ契機となりました。知られざる歴史の発見と、私たちの街の深い魅力を一緒に紐解いてみませんか？

日 時

9月15日（火）午後2時～

場 所

喜連川公民館ホール（市民大学連携事業）

参 加

無料／定員50名

申込方法

電話でのお申込み

※配布資料数把握のため事前申込みにご協力ください。

申込締切

9月14日（月）まで

【演 題】 旧下野中央銀行喜連川支店と建築家・大森茂

【講師紹介】

阪東 峻一 氏

星槎道都大学（北海道）専任講師

1982年福岡県生まれ。新聞記者を経て、現在は星槎道都大学専任講師。専門は日本経済史、産業遺産。2022年6月に旧下野中央銀行壬生支店の新築工事資料を入手をきっかけに、喜連川地区に現存する「和い話し広場」の建物が同じ図面で建てられた「双子建築」であることを発見。その成果を学会誌等で発表し、建物の国登録有形文化財答申の後押しとなった。



お申込み・問い合わせ

さくら市教育委員会 生涯学習課（〒329-1493 さくら市喜連川4420-1）

☎ 028（686）6621



▲広報さくらで建物を紹介した記事はこちら